

# 2023年度 事業報告書

( 2023年4月 1日から  
2024年3月31日まで )

# 2023年度 事業報告書

## I. 事業の概況

今年度は、例年どおり、研究等への助成事業や奨学金給付事業を行うとともに、制作助成の第4回助成対象者イム・ミヌクの展示「Hyper Yellow」及びその関連イベントを開催した。

それぞれの事業の実施状況は、以下のとおりである。

### <公益目的事業1>

#### 1. 都市に関する学術研究に対する助成（定款第4条1項1号）

##### (1) 一般研究者への助成

###### ① 対象

都市計画・都市景観、都市環境工学、都市交通システム・エネルギー計画、建築技術、都市建築史、都市と文化、都市政策、都市経済などに関連する研究を行う一般研究者

###### ② 募集

2023年7月3日当財団のホームページに募集要項を掲示し、国公立大学等に募集案内を送付したうえで、同年10月1日から10月31日までの間応募を受け付けた。

###### ③ 選考

162件の応募があった。

応募案件毎にそれぞれ3名の選考委員が、次の評価要素を勘案し、事前審査が行われた。

- a. 発想の独創性
- b. 研究計画の実現性
- c. 研究又は研究体制の発展への貢献度
- d. 財団の助成対象としての適合性

2024年1月25日開催の第26回選考委員会において、9名の選考委員が事前審査の結果を踏まえて、74名の助成候補者を選定し、理事長に報告した。

理事長が研究助成対象者74名の採択を承認したので、2024年3月15日、応募者全員に採択又は不採択の旨を通知した。

(計 100,650 千円)

##### (2) 若手研究者への助成

###### ① 対象

大学院修士又は博士課程に在籍し、都市に関するテーマを専攻する若手

研究者

② 募集

(1) 一般研究者への助成の場合と同じ

③ 選考

23件の応募があった。

一般研究者への助成の場合と同様の審査過程を経て、奨励研究助成候補者17名を選定し、理事長に報告した。

理事長が奨励研究助成対象者17名の採択を承認したので、2024年3月15日、応募者全員に採択又は不採択の旨を通知した。

(計 13,300 千円)

(3) 在外実務研修助成について

① 対象

大学院修士又は博士課程に在籍し、都市に関連する学術分野を専攻する学生のうち海外の研究機関、設計事務所等で実務研修を受けようとする者

② 募集

(1) 一般研究者への助成の場合と同じ

③ 選考

本年度は応募者がなかった。

2. 都市に関する学術研究を行う海外に在住する研究者の招聘及び日本に在住する研究者の海外派遣に対する助成（定款第4条1項2号）

① 対象

都市に関する学術的な国際会議、学会または共同研究等のために来日する海外に在住する研究者の招聘、又は同様の目的で渡航する日本に在住する研究者の海外派遣

② 募集

1の(1) 一般研究者への助成の場合と同じ

③ 選考

9件の応募があった。

一般研究者への助成の場合と同様の審査過程を経て、国際交流助成候補者5名を選定し、理事長に報告した。

理事長が国際交流助成対象者5名の採択を承認したので、2024年3月15日、応募者全員に採択の旨を通知した。

(採択後に1名辞退)

(計 3,200 千円)

3. 都市に関する国際会議、研究集会、シンポジウム及びセミナー等の開催に対する助成（定款第4条1項3号）

(1) 国際会議助成について

① 対象

日本で開催される都市に関する国際会議等

② 募集

1の(1)一般研究者への助成の場合と同じ

③ 選考

10件の応募があった。

一般研究者への助成の場合と同様の審査過程を経て、国際会議助成候補6件を選定し、理事長に報告した。

理事長が国際会議助成対象6件の採択を承認したので、2024年3月15日、応募者全員に採択又は不採択の旨を通知した。

(計 8,930 千円)

(2) 学術講演会、展示会、セミナーなどの開催等への助成

以下の4件について助成を行なった。

① New Ways of Building -Japan Research trip and Workshop

② なら国際映画祭

③ 太陽劇団『金夢島』

④ 第60回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展における日本館展示

(計 3,010 千円)

4. 都市に対して新たな視点からの提言、研究等を行う制作者等への助成（定款第4条1項5号）

第4回制作助成対象者のイム・ミヌク氏によるイム・ミヌク「Hyper Yellow」展及びその関連イベントを下記の通り開催した。

【展覧会】

開催期間：2024年3月1日（金）～3月12日（火）

会場：駒込倉庫（東京都豊島区駒込 2-14-2）

時間：12:00～20:00

総来場者数：555名（開催期間中）

【パフォーマンス「S.O.S - 走れ神々」】

開催日：2024年3月2日（土）、3日（日）

会場：：隅田川屋形船

「越中島棧橋」発着、東京都江東区越中島 1丁目先越中島公園内  
時 間：17:00～18:30  
参加者：154名

【トークイベント】

開催日：2024年3月4日（月）  
会 場：株式会社大林組 30階レセプションルーム  
時 間：17:00～18:30  
登壇者：3名（イム・ミヌク氏、紺野優希氏、権祥海氏）  
入場者：51名

（計 24,540千円）

5. 都市に関する学術研究等において優れた成果を上げた研究者に対する顕彰  
（定款第4条1項4号および6号）

2023年9月22日に第14回選考委員会（第1次審査）、11月30日に第15回選考委員会（第2次審査）を開催し、第13回大林賞の受賞者の選考を行った。

・選考委員会は、受賞候補者としてマルタ・アルゲリッチ氏、伊藤京子氏、公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団の3者を共同で推挙し、理事長に報告した。

・理事長はこれにもとづき、第13回大林賞の受賞者にマルタ・アルゲリッチ氏、伊藤京子氏、公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団の3者を共同授賞とすることを決定した。

氏 名 マルタ・アルゲリッチ (Martha ARGERICH)

現 職 ピアニスト

公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団 総裁  
別府アルゲリッチ音楽祭 総監督

氏 名 伊藤 京子 (Kyoko ITO)

現 職 ピアニスト

公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団 副理事長  
別府アルゲリッチ音楽祭 総合プロデューサー

団体名 公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団

(The Argerich Arts Foundation)

所在地 大分県別府市

(授賞理由)

世界を代表するアルゼンチン出身のピアニスト マルタ・アルゲリッチ氏は総監督として、盟友のピアニスト 伊藤京子氏は総合プロデューサーとして共に協力し、過去四半世紀にわたり別府アルゲリッチ音楽祭を通じて、世界的アーティストを別府の地に招き、若手音楽家や地元演奏家との交流を行ってきた。その結果、クラシック音楽は開かれた芸術となり、音楽を通じた社会貢献、地域振興を実現してきた。

また、公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団は、地域の人々と共に、心を育む豊かな社会の実現を目指し、行政と役割分担をしながら、これらの活動を継続実施してきた。

- ・ 芸術を核とした社会貢献と地域振興に寄与
- ・ 都市 別府の活性化 に対する貢献
- ・ 大分から世界に文化を発信されてきた実績

これらを3者の連携で成し遂げられてきた功績は、都市のあり方や将来像に画期的な指標を与えたと高く評価され、共同授賞とした。

(計 2,407 千円)

6. 前各号に掲げるもののほか、本財団の目的を達成する為に必要な事業  
(定款第4条1項8号)

助成事業関係費を支出した。

(計 9,304 千円)

<公益目的事業2>

7. 都市に関連ある分野の実業、実務又は学術研究に将来従事しようとする国内学生及び留学生に対する学資の給付及び支援等 (定款第4条1項7号)

(1) 国内奨学生選考

① 募集

2022年12月9日に国公立大学(財団指定校)に募集案内を送付したうえで、2023年4月1日から5月15日までの間応募を受け付けた。

② 選考

12大学から16件の応募があった。

それぞれの応募者について、5名の奨学生選考委員によって、次の評価要素を勘案し、審査・面接が行われた。

- a. 都市に関連ある分野の実業、実務又は学術研究に将来従事しようとする意志があること
- b. 人物、学業、健康ともに優れていること
- c. 奨学生交流会等、当財団の行事に積極的に出席する意志があること

2023年7月20日開催の15回選考委員会において、16名の候補者を選定し、理事長に報告した。

理事長が2023年度奨学生（第12期）16名の採択を承認したので、2023年7月24日、奨学生及び各大学に採用決定の旨を通知した。

(2) 国内奨学金 奨学給付金

① 第10期・第11期生

学期終了後、生活状況報告書、学業成績証明書などの提出を受け、全員給付継続とし、5月、7月、10月、1月に各3ヶ月分をそれぞれ給付した。

② 第12期生

2023年8月7日、第1回奨学給付金6ヶ月分を振込み、以降10月、1月にそれぞれ3ヶ月分を給付した。

(3) 海外留学奨学生選考

2023年11月29日付の内閣府変更認定を受け、同年12月11日より国公私立大学（財団指定校）に来年度選考の第1期生の募集案内送付と説明を行った。

(計 27,900 千円)

(4) その他、奨学事業に係る事業について

① 2023年度奨学生採択決定通知書授与式・交流会を、下記の通り実施した。

日 時 2023年8月23日 16:00～18:00

場 所 授与式 株式会社大林組本社3階講堂  
交流会 同上30階レセプションホール

出席者 第12期生 14名、財団関係者 13名  
第1期～第11期生 58名（交流会のみ出席）

② 第10期、第11期希望者及び第12期生参加の技術研究所見学会を開催した。

日 時 2023年8月24日 10:00～12:00

場 所 株式会社大林組 技術研究所

参加者 24名（奨学生 21名、財団関係者 3名）

③ 2023年度奨学生修了式等を、下記の通り実施した。

日 時 2024年3月6日 16:00～18:00

場 所 修了式 株式会社大林組 本社3階講堂

交流会 同上30階レセプションホール  
出席者 修了生 19名、財団関係者 12名  
修了生を除く第1期～第12期生 57名（交流会のみ出席）

（計 7,937千円）

（注）上記1～3の各助成対象者の氏名、研究内容等については、事報－8～18の一覧表に記載のとおり。

上記7の奨学生採択者大学名については、事報－21に記載のとおり。

**【附属明細書について】**

2023年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」に規定する「附属明細書」に該当する事項はありません。

## 2023年度研究助成採択者一覧（74名）

（単位：万円）

No.	氏名	フリガナ	所属・職名	研究課題	申請額
1	藪谷 祐介	ヤブタニ ユウスケ	富山大学 学術研究部芸術文化学系 講師	高校生のシビックプライドの醸成 要因と定住意識への影響 - 日本と 韓国の比較研究 -	150
2	白石 靖幸	シライシヤスユキ	北九州市立大学 国際環境工学部 教授	グリッドの電力品質安定化に配慮 した家庭用エネルギーリソース群 の連携制御	150
3	菊本 英紀	キクモト ヒデキ	東京大学 生産技術研究所 准教授	Urban Air Mobilityの安全利用に 向けた屋上風環境の実験的評価	150
4	西川 豊宏	ニシカワ トヨヒロ	工学院大学 建築学部 まちづくり 学科 教授	里山環境にある古民家改修の環境 改善効果と技術支援構築に関する 研究	150
5	羽深 昭	ハフカ アキラ	北海道大学大学院 工学研究院環境 工学部門 助教	パッシブサンプリングを活用した 湖沼底泥からのリン溶出評価～大 都市近郊の浅い富栄養化湖沼を対 象として～	150
6	吉岡 智和	ヨシオカ トモカズ	九州大学大学院 芸術工学研究院環 境設計部門 教授	AIにより生成した地震被害写真を 学習させた画像識別器を用いたピ ロティ階の耐震性能残存率の推定	150
7	荒川 俊也	アラカワ トシヤ	日本工業大学 先進工学部 データ サイエンス学科 教授	災害避難時「車乗り捨て」行動発 生要因の解明-シミュレータを用 いた実証実験と統計的手法による 分析-	150
8	橋場 弦	ハシバ ユヅル	東京大学大学院 人文社会系研究科 教授	古代ギリシア都市国家における民 主政の成熟と拡散に関する研究	150
9	中田 幸造	ナカダ コウゾウ	琉球大学 工学部工学科 建築学 コース 教授	能動横拘束を活用した震災建築物 への機動的応急補強法と本格復旧 のための恒久補強法に関する研究	150
10	佐藤 大気	サトウ ダイキ	千葉大学 国際高等研究基幹 特任 助教	都市の夜間光が沿岸生物の進化 的・可塑的適応に与える影響	150
11	辻原 万規彦	ツジハラ マキヒコ	熊本県立大学 環境共生学部環境共 生学科居住環境学専攻 教授	戦前期から昭和30年代に作製され た日本の火災保険地図の全体像の 確立	150

No.	氏名	フリガナ	所属・職名	研究課題	申請額
12	Islam Md. Rezuanul	イスラム エム ディレズワーノ ル	東京大学大学院 工学系研究科, 総合研究機構 特任研究員	東アジアの沿岸都市における極端な海面イベントに影響を与える要因：自然および人為的な要因	150
13	川本 陽一	カワモト ヨウイチ	九州大学大学院 芸術工学研究院 助教	デジタルツインを用いた都市形態の不均一性の解析	150
14	窪田 垂矢	クボタ アヤ	東北大学大学院 工学研究科 都市・建築学専攻 教授	災害復興過程における生活の連続性を獲得する被災者の「例外的」行為の解説	148
15	矢澤 大志	ヤザワ タイシ	東京大学 生産技術研究所 助教	フィリピン中小コミュニティの水環境詳細調査に基づく最適管理方法の検討	150
16	杉森 順子	スギモリ ジュンコ	日本工業大学 先進工学部情報メディア工学科 教授	プロジェクトマッピングによる都市の新たな価値の創出 - 海外のケーススタディから学ぶ -	150
17	浅野 純一郎	アサノ ジュンイチロウ	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 教授	沿道型特定用途制限地域の指定効果と今後の活用のあり方に関する研究	150
18	吉富 信太	ヨシトミ シンタ	立命館大学 理工学部建築都市デザイン学科 教授	デザインと性能を操作可能な木質ユニット耐力壁に関する研究	150
19	古田 智基	フルタ トモキ	西日本工業大学 デザイン学部 建築学科 教授	多種の木造住宅向け制震装置の性能検証を通じた耐震性能評価手法の構築ならびに地震被害軽減に向けた取り組み	150
20	藤田 謙一	フジタ ケンイチ	長崎総合科学大学 工学部工学科建築学コース 准教授	洋上風力発電の風、波、地震（海震）による損傷発生確率評価方法の開発	100
21	丸谷 耕太	マルヤ コウタ	金沢大学 融合研究域融合科学系 准教授	特別名勝庭園における茶店の景観評価と観光への活用	150
22	橋本 彼路子	ハシモト ヒロコ	長崎総合科学大学 工学部 教授	仮想空間による都市計画のシミュレーション - 軍艦島を対象にした検証 -	150
23	宮本 慎宏	ミヤモト ミツヒロ	香川大学 創造工学部 准教授	伝統構法木造建築物に用いられる柱-横架材接合部の耐震性能評価法の構築	150
24	氏原 岳人	ウジハラ タケヒト	岡山大学 学術研究院環境生命自然科学学域 准教授	多様性を支える都市構造と都市計画に関する基礎的研究	143
25	有馬 孝彦	アリマ タカヒコ	北海道大学大学院工学研究院 環境循環システム部門 助教	汚染土吸着層を用いた自然由来重金属掘削残土への新たな対策手法の確立	150

No.	氏名	フリガナ	所属・職名	研究課題	申請額
26	佐藤 幸恵	サトウ サチエ	東京都市大学 建築都市デザイン学部 准教授	住宅密集地における地震時の住宅被害判定の迅速化のための基礎的研究	150
27	藤岡 麻理子	フジオカ マリコ	國學院大學 観光まちづくり学部 准教授	市町村の歴史まちづくりにおける都道府県景観施策の役割	150
28	貞末 和史	サダスエ カズシ	広島工業大学 工学部建築工学科 教授	材端のみにコンクリート充填したプレキャスト型CFT柱の圧縮特性の評価	150
29	大内田 史郎	オオウチダ シロウ	工学院大学 建築学部 建築デザイン学科 教授	日本国有鉄道の建築と組織に関する研究	100
30	呉 濟元	オ ジェウオン	崇城大学 工学部建築学科 助教	都市における余剰エネルギーのグラフィック可視化ツールの開発並びに効率的な利用方法の検討	150
31	井澤 佳織	イサワ カオリ	東京大学生産技術研究所 人間・社会系部門 特別研究員	複数主体を前提とした建築ストックの利活用における意思決定に関する数理的研究	150
32	伯耆原 智世	ホウキバラ トモヨ	早稲田大学 理工学術院 専任講師	火災後使用を目指した木質構造部材内の熱・水分移動と力学的性能の予測	150
33	濱中 晃弘	ハマナカ アキヒロ	九州大学大学院 工学研究院 助教	CO2固定に向けたナノバブルによるセメントおよび高炉スラグの炭酸塩化の促進	150
34	伊藤 拓海	イトウ タクミ	東京理科大学 工学部建築学科 教授	震災建物の被害の情報化と復旧のための防災インフォマティクスのスキームと実地研究	150
35	横内 基	ヨコウチ ハジメ	国士舘大学 理工学部理工学科建築学系 教授	地震脆弱性が高い歴史的組積造建築物の壁面外方向の振動性状の評価	150
36	石垣 範和	イシガキ ノリカズ	名古屋大学大学院 工学研究科 材料デザイン工学専攻 助教	透明酸化物全固体二次電池の実現に向けた研究開発	150
37	能作 文徳	ノウサク フミノリ	東京都立大学 都市環境学部 建築学科 准教授	伝統知を応用した稲藁葺タイニーハウス建設の実践的研究	100
38	堂園 いくみ	ドウゾノ イクミ	東京学芸大学 教育学部自然科学系 教授	都市に生育する植物の繁殖に対する夜行性送粉昆虫の貢献度評価	149
39	松田 頼征	マツダ ヨリユキ	工学院大学 建築学部建築学科 准教授	高力ボルト摩擦接合梁継手での合成梁のせん断力伝達機構の解明	150
40	NGUYEN-TRAN Yen-	グエントラン イエンカン	島根大学 総合理工学部 助教	視線追跡と言語表現から見た屋台の視覚的魅力	150

No.	氏名	フリガナ	所属・職名	研究課題	申請額
41	中屋 佑紀	ナカヤ ユウキ	北海道大学大学院工学研究院 環境工学部門 助教	積雪寒冷地域の大都市・札幌の水環境保全のための下水由来汚染の定量的観測	150
42	奈良 禎太	ナラ ヨシタカ	京都大学大学院 工学研究科 准教授	環境負荷低減と新たな資源生成を目的とした二酸化炭素鉱物固定技術	150
43	林 憲吾	ハヤシ ケンゴ	東京大学生産技術研究所 人間・社会系部門 准教授	戦後賠償工事を通じたインドネシア建設業の基盤形成に関する研究	150
44	松井 大輔	マツイ ダイスケ	新潟大学 工学部 准教授	飛騨古川における「新町家」の外観意匠の基盤となる「相場」の可視化に関する研究	110
45	佃 悠	ツクダ ハルカ	東北大学大学院 工学研究科都市・建築学専攻 准教授	都市の文化拠点コミュニティシネマの持続要因に関する研究 - ドイツのコミナール・キノを事例として	150
46	野田 岳仁	ノダ タケヒト	法政大学 現代福祉学部福祉コミュニティ学科 准教授	都市コミュニティにおける井戸端再生の政策論	150
47	劉 虹	リュウ コウ	東京理科大学 創域理工学部建築学科 嘱託助教	開口間の枠梁の脆性破壊を防止するための補強手法に関する解析的研究	150
48	金澤 伸一	カナザワ シンイチ	新潟大学 工学部工学科社会基盤工学プログラム 准教授	突発的豪雨に対する盛土構造物の安定性評価に関する研究	120
49	小林 茂雄	コバヤシ シゲオ	東京都市大学 建築都市デザイン学部建築学科 教授	地形認識する光を活用した広域での夜間避難誘導の有効性検討	120
50	鄭 弯弯	テイ ワンワン	名古屋大学 人文学研究科 助教	景況を正確に捉え、読み解く：数量的景気判断指標と景気センチメントの結合	120
51	畑中 祐紀	ハタナカ ユウキ	大阪大学 大学院工学研究科 助教	地震リスクに基づく鋼構造建物の過大変位制御設計法の提案	95
52	服部 宏充	ハットリ ヒロミツ	立命館大学 情報理工学部 教授	AIと人の共創に基づいた都市ビジョンデザイン基盤の実現	120
53	寺井 雅和	テライ マサカズ	近畿大学 工学部建築学科 准教授	伐採竹材を活用した竹筋コンクリート構造物を建設する技術開発	120
54	沓澤 隆司	クツザワ リュウジ	武蔵野大学 経済学部 経済学科 教授	メッシュデータを活用した業務機能の立地構造と変化に関する分析	120
55	笹井 晃太郎	ササイ コウタロウ	大阪大学大学院 工学研究科 特任研究員（常勤）	社会基盤施設の劣化過程における複合要因が及ぼす影響の研究	120

No.	氏名	フリガナ	所属・職名	研究課題	申請額
56	小谷 仁務	コタニ ヒトム	京都大学大学院 地球環境学学 助教	電気自動車普及社会を見据えた住宅の災害レジリエンス：充放電設備導入と停電時住宅給電の過程分析	120
57	濱田 栄作	ハマダ エイサク	琉球大学 教育学部 教授	避難行動シミュレーションを活用した離島のまちづくりに関する研究	120
58	諸富 徹	モロトミ トオル	京都大学大学院 経済学研究科 教授	人口減少下における「カーボンニュートラル都市(CN都市)」構築のための主体と合意形成のあり方に関する国際比較研究	120
59	小柏 典華	オガシワ ノリカ	芝浦工業大学 建築学部 准教授	徳川慶喜公屋敷跡「浮月楼」の文化的価値評価に関する研究	120
60	松行 美帆子	マツユキ ミホコ	横浜国立大学 大学院都市イノベーション研究院 教授	超高層マンションにおける災害時の在宅避難の可能性に関する研究	120
61	深澤 遊	フカサワ ユウ	東北大学大学院 農学研究科 准教授	仙台市の街路樹の地下における外生菌根菌ネットワークを介したシグナル伝達の検出	120
62	羅 承賢	ナ スンヒョン	西日本工業大学 デザイン学部建築学科 講師	低炭素社会の実現に向けたバイオシリカを用いたアルカリ活性セメントの開発	120
63	香月 歩	カツキ アユミ	東京工業大学 環境・社会理工学院 助教	広域連携による地域イメージ形成に関する研究ードイツにおける近代産業遺産群立地地域を事例として	120
64	山名 善之	ヤマナ ヨシユキ	東京理科大学 創域理工学部建築学科 教授	J.-B. Lassus と E. Viollet-le-Duc の協働を通してみる修復概念に関する研究	120
65	酒井 高良	サカイ タカラ	東京工業大学 環境・社会理工学院 特任助教	時空間スケールの異なる通勤渋滞緩和施策の相補的・相反的效果	120
66	三村 泰広	ミムラ ヤスヒロ	公益財団法人豊田都市交通研究所 研究部 主幹研究員	マイクロモビリティ ( $\mu M$ ) と既存交通の混在をふまえた道路空間のあり方に関する研究	120
67	金子 健作	カネコ ケンサク	大阪公立大学大学院 工学研究科都市系専攻 講師	安全性と居住性の両立に向けた都市型高層共同住宅の適応的連結制振	120
68	神谷 浩二	カミヤ コウジ	岐阜大学 工学部社会基盤工学科 教授	河川堤防の間隙空気の性質を感知し豪雨時の浸透挙動を監視する手法	120

No.	氏名	フリガナ	所属・職名	研究課題	申請額
69	原 朋弘	ハラ トモヒロ	武蔵大学 経済学部経済学科 専任講師	アフリカの多民族都市における民族融和と市場分断の緩和: ターゲティングとフィールド実験	120
70	有田 智一	アリタ トモカズ	筑波大学 システム情報系社会工学域 教授	自治体保有資産の有効活用を目的とした公民共創プロセスに関する研究	120
71	ENKE HAORIBAO	エンケ ホルワ	八戸工業高等専門学校 環境都市・建築デザインコース 助教	設計者の意図を考慮した平面図生成AIの開発について	120
72	阿部 佑平	アベ ユウヘイ	北海道立総合研究機構 建築研究本部 北方建築総合研究所 建築研究部環境システムグループ 主査 (建築環境)	寒冷地における電気自動車の使用実態と充電方法がCO2排出量に与える影響	120
73	三浦 詩乃	ミウラ シノ	東京大学大学院 新領域創成科学研究科 客員連携研究員	保養効果を高めるウォークアブルな温泉地モデルの提案 -城崎温泉を対象に	120
74	狩野 朋子	カノウ トモコ	帝京平成大学 人文社会学部観光経営学科 教授	歴史地区の公共空間におけるコミュニティ活動と防災拠点化に関する研究	120

合計 10,065

## 2023年度奨励研究助成採択者一覧（17名）

（単位：万円）

No.	氏名	フリガナ	所属	研究課題	申請額
1	伊藤 理紗	イトウ リサ	名古屋大学大学院 環境学研究科 李時桓 研究室	日射遮蔽ルーバーを活用した自動可変型太陽光発電システムの性能検証	80
2	室岡 太一	ムロオカ タイチ	筑波大学大学院 理工情報生命学術院 近未来計画学研究室	持続可能な都市の実現に向けた x-minute city 理念の新展開	80
3	安 慶龍	アン ケイリュウ	京都大学大学院 地球環境学舎 人間環境設計論	歴史遺産地域における街路の形態的特徴に基づいた地域活性と防災対策	80
4	橋本 青空	ハシモト ソラ	金沢大学大学院 自然科学研究科 地震工学研究室	世界遺産沖縄グスク石垣の耐震性評価と文化的価値を損なわない補強方法の提案	80
5	SHEN JIE	シン ジェ	東京大学大学院 工学系研究科 林憲吾研究室	冷戦期クレーン技術トランスファーにまつわる中国の建設活動に関する歴史研究	80
6	飯田 輝良	イイダ キラ	新潟大学大学院 自然科学研究科 地盤環境工学研究室	高レベル放射性廃棄物処分施設における崩壊熱の影響によるベントナイト緩衝材の力学挙動に関する研究	50
7	林 杏奈	ハヤシ アンナ	岡山大学大学院 環境生命自然科学研究科 都市・建築環境学研究室（鳴海研究室）	全国の中規模病院を対象とした病棟のコンストラクションプロセスにおける看護師の活動に関する研究	80
8	新美 はるか	ニイミ ハルカ	信州大学大学院 総合理工学研究科 中谷研究室	機械学習による熱ストレスの判定の高度化～SHAPを用いた特徴量の寄与度分析～	80
9	齋藤 士琉	サイトウ シリュウ	信州大学大学院 総合理工学研究科 中谷研究室	体育館設計の最適化に向けた数値流体解析とエネルギー解析の連成手法の確立	80
10	日笠山 葵	ヒガサヤマ アオイ	東洋大学大学院 ライフデザイン学研究科人間環境デザイン 齋藤博研究室	社会的孤立に対する地域を主体とした取り組みに関する研究 -板橋区と練馬区における子育て支援員の養成を事例として-	80

No.	氏名	フリガナ	所属	研究課題	申請額
11	本多 一貴	ホンダ カズキ	立正大学大学院 地球環境科学 研究科 社会地理研究室	大都市圏郊外の「限界住宅 地」における未利用不動産の 荒地化抑止に向けた対応に関 する法地理学的研究	80
12	落合 洸介	オチアイ コウスケ	神戸大学大学院 工学研究科 建 築学専攻日本建築史研究室	ヨーロッパにおける日本の建 築文化の理解と受容に関する 研究 - 吉田鉄郎の『Das Japanische Wohnhaus』 (1935) に着目して -	80
13	新倉 梨加	ニイクラ リカ	東京工業大学 環境・社会理 工学院 建築学系 都市・環境 学コース 那須 聖 研究室	「座る」の在り方を探るため の基礎的研究 : 20世紀前半の 南カリフォルニアの住宅の造 り付け座家具を対象とした ケーススタディ	80
14	大星 直也	オオホシ ナオヤ	信州大学大学院 総合理工学研 究科 中谷研究室	日本の学校建築における気候 変動影響評価 -機械学習によ るエネルギー最適化と健康リ スク低減-	80
15	王 田	ワン ティエン	北九州市立大学大学院 国際環 境工学研究科 高 偉俊 研究室	都市スケール建設業の全ライ フサイクル炭素排出算定と脱 炭素可能性	80
16	アニサ アンディカ ファジャル	アニサ アンディカ ファジャル	東京工業大学大学院 環境・社 会理工学院 - 融合理工学系 地 球環境共創コース 時松研究室	インドネシアにおける ニア・ ゼロ・エネルギー・ビルディ ング を目指した設計・評価 研究	80
17	杉山 慧	スギヤマ サトイ	芝浦工業大学大学院 理工学研 究科 岡崎研究室	エチオピアにおける地域コ ミュニティを中心としたボト ムアップ型の歴史地区に関す る研究	80

合計 1,330

## 2023年度国際交流助成採択者一覧（4名）

（単位：万円）

No.	氏 名	フリガナ	所属・職名	研究課題	申請額
1	中島 美登子 (派遣・共同研究)	ナカシマ ミトコ	香川大学創造工学部 建築・都市環境コース 准教授	災害被災地における‘Aging in place’の実現過程に関する国際共同研究	90
2	荒木 慶一 (招聘・共同研究)	アラキ ヨシカズ	名古屋大学大学院 環境学研究科 教授	可変回転質量同調ダンパーによるCLT床の振動制御	90
3	福元 豊 (招聘・国際会議)	フクモト ユタカ	長岡技術科学大学 技学研究院 環境社会基盤系 准教授	鉄道バラスト粒子の破壊機構に関する共同研究とIWACOM-IVの地盤工学セッションへの招聘	50
4	安藤 宏恵 (派遣・共同研究)	アンドウ ヒロエ	熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター 助教	複数交通手段を包含した交通ネットワークにおける計画運休・通行止めの影響評価	90

合計 320

## 2023年度国際会議助成採択者一覧（6名）

（単位：万円）

No.	氏名	フリガナ	所属	国際会議の名称	申請額
1	奥出 信博	オクデノブヒロ	京都大学大学院 工学研究科 特定助教	【和文】 IIIAE 2025世界大会in名古屋 【英文】 IIIAE 2025 Nagoya (International Institute Innovative Acoustic Emission)	150
2	五十子 幸樹	イカゴコウジュ	東北大学 災害科学国際研究所 教授	【和文】 第10回構造ヘルスマニタリングに関するアジア・太平洋ワークショップ 【英文】 10th Asia-Pacific Workshop on Structural Health Monitoring	143
3	村上 公哉	ムラカミ キミヤ	芝浦工業大学 建築学部建築学科 教授	【和文】 第21回 アジア都市環境学会国際会議2024（東京） 【英文】 21th International Conference of Asia Institute of Urban Environment (AIUE2024 in Tokyo)	150
4	権藤 智之	ゴンドウトモユキ	東京大学大学院 工学系研究科建築学専攻 准教授	【和文】 アジア・コンピューター支援建築デザイン研究学会 【英文】 The Association for Computer-Aided Architectural Design Research in Asia	150
5	高 偉俊	ガオ ウエイジュン	北九州市立大学 国際環境工学部 教授	【和文】 第12回家電製品及び照明等のエネルギー効率に関する国際会議 【英文】 12th International Conference on Energy Efficiency in Domestic Appliances and Lighting	150
6	山田 明	ヤマダ アキラ	東京工業大学 工学院 教授	【和文】 第35回太陽光発電国際会議 【英文】 35th International Photovoltaic Science and Engineering Conference	150

## 2023年度講演会・展示会・セミナー等助成採択者一覧表（4件）

（単位：万円）

No.	氏名	フリガナ	助成先	展示会等の名称	助成額
1	Dietrich Fink	ディエトリック フィンク	ミュンヘン工科大学	New Ways of Building -Japan Research trip and Workshop	51
2	河瀬 直美	かわせ なおみ	NPO法人なら国際映画祭	なら国際映画祭	50
3	鈴木 順子	すずき じゅんこ	東京芸術劇場	太陽劇団『金夢島』	100
4	梅本 和義	うめもと かずよし	独立行政法人国際交流基金	第60回ヴェネチア・ビエンナーレ 国際美術展における日本館展示	100

合計 301

財団設立以来の各種助成事業の実施状況（2011年度～2023年度）

（2024.4月現在）

助成対象区分		2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
研究助成 (一般研究者)	応募総数	88件	110件	88件	78件	85件	95件	105件	114件	102件	77件	82件	89件	162件
	採択予定件数	15件	17件	17件	18件	17件	42件	40件	40件	60件	45件	50件	62件	60件
	採択件数	16件	20件	30件	18件	35件	51件	49件	49件	70件	52件	51件	71件	74件
	採択率 %	18.2%	18.2%	34.1%	23.1%	41.2%	53.7%	46.7%	43.0%	68.6%	67.5%	62.2%	79.8%	45.7%
	助成額（千円）	15,890	19,585	22,580	17,694	25,100	49,379.5	47,709	64,372.25	90,792	70,606	71,550	102,370	100,650
奨励研究助成 若手研究者 (博士課程在籍者)	応募総数	12件	23件	10件	17件	10件	17件	12件	18件	9件	9件	20件	15件	23件
	採択予定件数	10件	5件	5件	5件	5件	10件	10件	6件	6件	6件	6件	10件	7件
	採択件数	9件	7件	8件	5件	7件	11件	10件	10件	7件	6件	17件	14件	17件
	採択率 %	75.0%	30.4%	80.0%	29.4%	70.0%	64.7%	83.3%	55.6%	77.8%	66.7%	85.0%	93.3%	73.9%
	助成額（千円）	2,620	3,300	3,980	2,490	3,160	5,490	4,934	7,422.5	5,230	4,660	13,590	11,200	13,300
在外研修助成 (修士・博士 課程在籍者)	応募総数	1件	0件	0件	0件	3件	0件	1件	0件	2件	1件	2件	0件	0件
	採択予定件数	2件	1件	1件	1件	1件	2件	1件	1件	1件	1件	3件	3件	3件
	採択件数	1件	0件	0件	0件	2件	0件	1件	0件	2件	1件	2件	0件	0件
	採択率 %	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	助成額（千円）	300	0	0	0	850	0	500	0	1,280	700	1,780	0	0
国際交流助成	応募総数	10件	12件	7件	6件	8件	3件	7件	7件	8件	5件	3件	4件	9件
	採択予定件数	4件	2件	2件	2件	2件	4件	2件	5件	5件	5件	5件	5件	5件
	採択件数	4件	3件	3件	2件	2件	2件	4件	4件	5件	5件	2件	4件	4件
	採択率 %	40.0%	25.0%	42.9%	33.3%	25.0%	66.7%	57.1%	57.1%	62.5%	100.0%	66.7%	100.0%	44.4%
	助成額（千円）	1,845	1,570	1,800	1,200	1,200	1,160	2,100	2,443	4,340	3,940	1,800	3,590	3,200
国際会議助成	応募総数	5件	7件	12件	13件	5件	8件	7件	11件	9件	5件	6件	12件	10件
	採択予定件数	4件	3件	3件	3件	3件	5件	5件	5件	5件	5件	5件	5件	5件
	採択件数	4件	3件	5件	3件	3件	5件	5件	5件	6件	5件	6件	8件	6件
	採択率 %	80.0%	42.9%	41.7%	23.1%	60.0%	62.5%	71.4%	45.5%	66.7%	100.0%	100.0%	66.7%	60.0%
	助成額（千円）	3,200	3,000	4,000	3,000	2,970	4,700	4,950	6,615	7,680	7,490	9,000	11,300	8,930
講演会・展示会・ セミナー等開催助成	応募総数	3件	3件	3件	5件	3件	3件	2件	1件	4件	2件	3件	5件	4件
	採択予定件数	2件	4件	4件	4件	4件	8件	3件	3件	3件	3件	3件	5件	5件
	採択件数	3件	3件	3件	5件	3件	3件	2件	1件	4件	2件	3件	5件	4件
	採択率 %	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	助成額（千円）	1,781	700	1,215	3,300	3,000	2,900	3,000	1,000	3,600	2,000	3,327	5,345.3	3,010
申請総数	119件	155件	120件	118件	114件	126件	134件	151件	151件	134件	99件	116件	125件	208件
採択予定件数（合計）	37件	32件	32件	33件	32件	71件	61件	60件	60件	80件	65件	72件	90件	85件
採択数	37件	36件	49件	33件	52件	72件	71件	69件	69件	92件	71件	81件	102件	105件
採択率 %	31.1%	23.2%	40.8%	28.0%	45.6%	57.1%	53.0%	45.7%	45.7%	68.7%	71.7%	69.8%	81.6%	50.5%
助成額（千円）	25,636	28,155	33,575	27,684	36,280	63,629.5	63,193.0	81,852.75	112,922	89,396	101,047.2	133,805.3	129,090.0	

（注）2023年度国際交流助成は決定後1名辞退。

財団設立以来の各種助成事業の実施状況（1998年度～2010年度）

（2024. 4月現在）

助成対象区分		1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
研究助成 (一般研究者)	応募総数	24件	56件	49件	41件	46件	53件	63件	81件	87件	73件	88件	81件	82件
	採択予定件数	8件	10件	10件	10件	12件	12件	12件	10件	10件	17件	15件	12件	12件
	採択件数	8件	10件	11件	13件	12件	12件	13件	11件	20件	18件	15件	12件	14件
	採択率 %	33.3%	17.9%	22.4%	31.7%	26.1%	22.6%	20.6%	13.6%	23.0%	24.7%	17.0%	14.8%	17.1%
	助成額 (千円)	12,000	14,850	16,340	19,470	17,711	17,580	19,360	16,500	29,250	26,320	22,154	17,660	16,700
奨励研究助成 若手研究者 (博士課程在籍者)	応募総数	9件	8件	12件	10件	9件	8件	7件	6件	4件	6件	3件	12件	13件
	採択予定件数	8件	10件	10件	10件	10件	10件	10件	7件	7件	10件	7件	5件	10件
	採択件数	9件	8件	10件	9件	9件	8件	7件	6件	4件	6件	3件	7件	10件
	採択率 %	100.0%	100.0%	83.3%	90.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	58.3%	76.9%
	助成額 (千円)	2,700	2,380	3,000	2,700	2,700	2,400	2,100	1,800	1,200	1,800	900	2,100	3,000
在外研修助成 (修士・博士 課程在籍者)	応募総数			3件	3件	1件	2件	0件	1件	3件	2件	0件	1件	3件
	採択予定件数			0件	3件	2件								
	採択件数			3件	3件	1件	2件	0件	1件	3件	2件	0件	1件	2件
	採択率 %			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	66.7%
	助成額 (千円)			900	900	300	600	0	300	900	600	0	300	600
国際交流助成	応募総数	17件	13件	7件	6件	8件	5件	7件	18件	5件	8件	10件	9件	8件
	採択予定件数	8件	10件	10件	10件	10件	10件	10件	8件	8件	8件	8件	8件	8件
	採択件数	8件	9件	7件	5件	8件	5件	7件	8件	5件	8件	9件	6件	8件
	採択率 %	47.1%	69.2%	100.0%	83.3%	100.0%	100.0%	100.0%	44.4%	100.0%	100.0%	90.0%	66.7%	100.0%
	助成額 (千円)	4,000	4,260	3,264	2,310	3,470	2,500	3,300	3,640	2,430	3,312	4,177	2,952	3,842
国際会議助成	応募総数	1件	6件	2件	1件	3件	4件	3件	6件	3件	7件	4件	14件	10件
	採択予定件数	1件	2件	3件	3件	3件	3件							
	採択件数	1件	2件	2件	1件	2件	2件	2件	2件	3件	5件	3件	3件	4件
	採択率 %	100.0%	33.3%	100.0%	100.0%	66.7%	50.0%	66.7%	33.3%	100.0%	71.4%	75.0%	21.4%	40.0%
	助成額 (千円)	1,000	2,000	2,000	1,000	2,000	2,000	2,000	2,000	3,000	5,000	3,000	3,000	3,990
講演会・展示会・ セミナー等開催助成	応募総数		0件	1件	0件	1件	1件	0件	0件	0件	1件	1件	2件	1件
	採択予定件数		2件	2件	2件	2件	2件	2件	1件	1件	1件	1件	1件	2件
	採択件数		0件	1件	0件	1件	1件	0件	0件	0件	1件	1件	2件	1件
	採択率 %		0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	助成額 (千円)		0	1,000	0	1,000	1,000	0	0	0	1,233	500	1,000	1,000
申請総数		51件	83件	74件	61件	68件	73件	80件	112件	102件	97件	106件	119件	117件
採択予定件数 (合計)		25件	34件	34件	37件	39件	39件	39件	31件	31件	42件	37件	32件	37件
採 択 数		26件	29件	34件	31件	33件	30件	29件	28件	35件	40件	31件	31件	39件
採 択 率 %		51.0%	34.9%	45.9%	50.8%	48.5%	41.1%	36.3%	25.0%	34.3%	41.2%	29.2%	26.1%	33.3%
助 成 額 (千円)		19,700	23,490	26,504	26,380	27,181	26,080	26,760	24,240	36,780	38,265	30,731	27,012	29,132

## 2023 年度(第12期) 奨学生採択者大学名一覧表

No.	大学名	採択者人数	金額(千円)
1	北海道大学	1名	600
2	筑波大学	2名	1,200
3	東京工業大学	1名	600
4	一橋大学	1名	600
5	慶應義塾大学	1名	600
6	早稲田大学	1名	600
7	法政大学	1名	600
8	名古屋工業大学	2名	1,200
9	京都大学	1名	600
10	立命館大学	2名	1,200
11	神戸大学	1名	600
12	九州大学	2名	1,200
合 計		16名	9,600

## II. 処務の概要

### 1. 役員等に関する事項

2024年3月31日現在

職名	常勤・非常勤	氏名	就任(重任)年月日	担当職務	現職	備考
理事長	非常勤	大林 剛郎	2022年6月26日	業務の総理	(株)大林組 取締役会長 兼 取締役会議長	
理事	同上	沖原 隆宗	2022年6月2日	業務の決議	株式会社三菱UFJ銀行 特別顧問	
同上	同上	神戸 雄一郎	2023年5月30日	同上	かんべ土地建物株式会社 代表取締役社長	
同上	同上	佐和 隆光	2022年6月2日	同上	京都大学 名誉教授	
同上	同上	仲上 健一	同上	同上	立命館大学 OIC 総合研究機構サステイ ナビリティ学研究センター 上席研究員 立命館大学 名誉教授	
同上	同上	原口 達哉	2024年3月24日辞任		大樹生命保険株式会社 副社長執行役員	
常務理事	同上	絹川 直	2023年6月14日	理事長の補佐	(株)大林組	

監事	非常勤	小林 啓文	2022年6月2日	監査	小林啓文法律事務所 弁護士	
同上	同上	加賀谷 達之助	同上	同上	公認会計士	

職名	常勤・非常勤	氏名	就任(重任)年月日	担当職務	現職	備考
評議員会長	非常勤	大林 智子	2022年6月2日	議案の審議・助言	(株)TJ COLLECTION 代表	
評議員	同上	岡野 光喜	2022年6月2日	同上	サンフロント21懇話会 代表幹事	
同上	同上	川村 喜久	2019年6月20日	同上	DIC 株式会社 取締役	
同上	同上	小寺 康雄	2023年5月30日 任期満了		(株)大林組 顧問	
同上	同上	佐藤 俊美	2023年5月30日	議案の審議・助言	(株)大林組 取締役副社長執行役員	
同上	同上	富田 和孝	2022年10月5日	同上	日の丸交通株式会社 代表取締役社長	
同上	同上	藤本 壮介	2022年6月2日	同上	株式会社藤本壮介建築設計事務所 代 表取締役社長	
同上	同上	森 京子	同上	同上	森美術館 理事	

職名	常勤・非常勤	氏名	就任(重任)年月日	担当職務	現職	備考
選考委員	非常勤	大西 隆	2023年1月17日	助成候補の選考	東京大学 名誉教授	委員長
同上	同上	伊東 順二	同上	同上	学校法人福岡建設専門学校 理事長	副委員長
同上	同上	青柳 いづみこ	同上	同上	大阪音楽大学 教授	
同上	同上	池田 靖史	同上	同上	東京大学大学院工学系研究科 建築学専 攻 特任教授	
同上	同上	土佐 尚子	同上	同上	京都大学防災研究所 特定教授	

職名	常勤・非常勤	氏名	就任(重任)年月日	担当職務	現職	備考
選考委員	非常勤	佐々木 葉	2023年1月17日	助成候補の選考	早稲田大学創造理工学部社会環境工学科 教授	
同上	同上	平田 京子	同上	同上	日本女子大学 家政学部 住居学科 教授	
同上	同上	村木 美貴	同上	同上	千葉大学大学院 工学研究院 教授	
同上	同上	森 知也	同上	同上	京都大学経済研究所 教授	

職名	常勤・非常勤	氏名	就任(重任)年月日	担当職務	現職	備考
推薦 選考委員	非常勤	野村 しのぶ	2022年11月25日	助成候補の選考	東京オペラシティアートギャラリー シニア・キュレーター	委員長
同上	同上	保坂 健二郎	同上	同上	滋賀県立美術館 ディレクター(館長)	副委員長
同上	同上	飯田 志保子	同上	同上	キュレーター	
同上	同上	大坂 紘一郎	同上	同上	アサクサ 代表	
同上	同上	藪前 知子	同上	同上	東京都現代美術館 学芸員	

職名	常勤・非常勤	氏名	就任(重任)年月日	担当職務	現職	備考
奨学生 選考委員	非常勤	大西 隆	2022年4月27日	奨学生候補の選考	東京大学 名誉教授	委員長
同上	同上	平山 忠	2023年5月12日	同上	(株)大林組 本社人事部長	副委員長
同上	同上	佐々木 葉	2022年4月27日	同上	早稲田大学創造理工学部社会環境工学科 教授	
同上	同上	安部 浩	同上	同上	(株)大林組 本社建築本部 本部長室長	
同上	同上	大西 康之	2023年6月14日	同上	(株)大林組 執行役員 土木本部副本部長	

## 2. 職員に関する事項

職名	常勤・非常勤	氏名	採用年月日	担当事務	備考
事務局長	常勤	絹川 直	2023年4月1日	事務局の統括	(株)大林組との出向契約による。
マネージャー	同上	吉川 裕子	2008年1月15日	経理・総務・庶務	(株)大林組との出向契約による。
事務局員	非常勤	樋田 理沙	2019年6月10日 ～ 2023年7月17日	奨学事業全般	(株)大林組との出向契約による。
同上	同上	網谷 みくり	2023年7月10日	同上	(株)大林組との出向契約による。
同上	常勤	中西 宣子	2012年10月1日	経理・総務・庶務	(公財)大林財団との直接雇用による。

### 3. 会議等に関する事項

#### (1) 理事会

開催年月日	会議事項	会議の結果
2023年5月12日	1.2022年度事業報告書及び附属明細書の承認の件	全会一致で承認・可決
	2.2022年度貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書及び財産目録の承認の件	全会一致で承認・可決
	3.奨学生選考委員の選任の件	全会一致で承認・可決
	4.第38回評議員会を招集する件	全会一致で承認・可決
2023年5月30日	1.2023年度第1回業務執行状況の報告について	了承
	2.資産運用状況の報告について	了承
2023年6月14日	1.絹川直を常務理事(業務執行理事)に選定する件	全会一致で承認・可決
	2.奨学生選考委員の選任の件	全会一致で承認・可決
	3.理事の選任について	了承
	4.評議員の選任について	了承
2023年9月4日	1.国内奨学生募集に関わる指定校を見直す件	全会一致で承認・可決
	2.海外留学奨学金制度導入の件	全会一致で承認・可決
	3.変更認定に係る事業計画書及び正味財産増減予算書の承認の件	全会一致で承認・可決
	4.定款の一部変更の件	全会一致で承認・可決
	5.第39回評議員会を招集する件	全会一致で承認・可決
2023年12月15日	1.奨学生選考委員会規則等の変更の件	全会一致で承認・可決
	2.海外留学奨学金制度導入に伴う変更認定について	了承
2024年1月10日	1.海外留学奨学金制度導入に伴う奨学生選考委員の増員の件	全会一致で承認・可決
	2.大林賞の授賞対象の件	全会一致で承認・可決
	3.第13回大林賞授賞者について	了承
2024年2月8日	1.奨学生選考委員の任期満了に伴う選任の件	全会一致で承認・可決
	2.第40回評議員会を招集する件	全会一致で承認・可決
2024年3月13日	1.2024年度事業計画書及び正味財産増減予算書の承認の件	全会一致で承認・可決
	2.株主権の議決権行使の件	全会一致で承認・可決
	3.2023年度の助成対象者決定について	了承
	4.2023年度第2回業務執行状況の報告について	了承

## (2) 評議員会

開催年月日	会議事項	会議の結果
2023年5月30日	1.2022年度事業報告書及び附属明細書の承認の件	全会一致で承認・可決
	2.2022年度貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書及び財産目録の承認の件	全会一致で承認・可決
	3.理事の選任の件	全会一致で承認・可決
	4.評議員の選任の件	全会一致で承認・可決
	5.2023年度第1回業務執行状況の報告について	了承
	6.資産運用状況の報告について	了承
	7.奨学生選考委員の選任について	了承
	8.評議員の辞任について	了承
2023年9月15日	1.変更認定に係る事業計画書及び正味財産増減予算書の承認の件	全会一致で承認・可決
	2.海外留学奨学金制度導入に係る「定款の一部変更」の件	全会一致で承認・可決
	3.国内奨学生募集に関わる指定校の見直しについて	了承
	4.海外留学奨学金制度導入について	了承
2024年3月13日	1.2024年度事業計画書及び正味財産増減予算書の承認の件	全会一致で承認・可決
	2.株主権の議決権行使について	了承
	3.2023年度の助成対象者決定について	了承
	4.2023年度第2回業務執行状況の報告について	了承
	5.海外留学奨学金制度について	了承
	6.奨学生選考委員について	了承
	7.第13回大林賞について	了承

## (3) 選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
2023年9月22日	第13回大林賞について	候補者を4名(うち2名は共同推薦)として次回選考委員会で再審議することを決定
2023年11月30日	第13回大林賞について(第2次選考)	全会一致で授賞候補者を選考決定
2024年1月25日	1.2023年度研究助成等の選考について	全会一致で候補者を選考決定
	2.2024年度助成事業に関するスケジュールについて	承認
	3.各種協賛について	承認

(4) 奨学生選考委員会

開催年月日	議 事 事 項	会 議 の 結 果
2023年7月20日	1.奨学生選考副委員長の選任の件	平山忠氏に決定
	2.2023年度奨学生の選考の件	全会一致で候補者を選考決定
	3.国内奨学金募集要項の見直しの件	承認
	4.海外留学奨学金の新設の件	来年度から新設の海外留学奨学生募集要項(案)および選考スケジュール(案)について検討
	5.新任選考委員について	承認

(5) 推薦選考委員会

開催年月日	議 事 事 項	会 議 の 結 果
2023年8月28日	1.予定しているイベントについて	ミヌク氏より展覧会、イベントについての途中経過を報告いただいた。
	2.財団が予定しているイベントについて(2月の来日時)	予定しているイベントについて検討を行った。
	3.記録冊子の進め方	編集者候補者について検討を行った。
2023年10月3日	イム・ミヌク氏からの進捗状況の報告と選考委員との意見交換	イム・ミヌク氏からの進捗状況の報告と選考委員との意見交換を行った。
2023年12月6日	進捗状況の報告	現在までの進捗状況の報告を行った。
	今後のスケジュールについて意見交換	今後のスケジュールについての意見交換を行った。

4. 許可、認可、承認、証明等に関する事項

申請年月日	申 請 事 項	許 可 年 月 日	備 考
2023年10月4日	変更認定申請(公益目的事業に「海外留学奨学金」を追加)	2023年11月29日	

## 5. 契約に関する事項

契約年月日	契約相手方	契約の内容	契約期間
2023年12月1日	特定非営利活動法人芸術公社	第4回制作助成事業に関わる広報PR業務、受付・運営業務、関連トーク運営業務	2023年12月1日 ～ 2024年3月31日
2023年12月30日	ジョイス ラム	第4回制作助成事業に関わる記録冊子の企画・編集・校正・制作	2023年12月30日 ～ 2024年12月31日

## 6. 寄付金に関する事項

寄付の目的	寄付者	寄付金額
	なし	

## 7. 内閣府への届出・提出

連絡年月日	連絡事項	履行状況
2023年6月28日	2022年度事業報告書等の提出	電子申請による提出
2024年3月28日	2024年度事業計画書等の提出	電子申請による提出

# 予算対比正味財産増減計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	252,000,150	252,000,183	△ 33
基本財産受取利息	150	183	△ 33
基本財産受取配当金	252,000,000	252,000,000	0
雑収益	4,000	1,922,154	△ 1,918,154
受取利息	4,000	11,489	△ 7,489
雑収益	0	1,910,665	△ 1,910,665
経常収益計	252,004,150	253,922,337	△ 1,918,187
(2) 経常費用			
事業費			
助成費	115,300,000	129,090,000	△ 13,790,000
制作助成関係費	26,240,000	24,540,496	1,699,504
顕彰事業関係費	500,000	2,406,852	△ 1,906,852
助成事業関係費	6,365,000	9,304,237	△ 2,939,237
奨学給付金	31,800,000	27,900,000	3,900,000
奨学事業推進費	7,000,000	7,936,714	△ 936,714
直接事業費 小計	187,205,000	201,178,299	△ 13,973,299
給料手当	11,059,510	12,088,143	△ 1,028,633
退職給付費用	308,000	490,488	△ 182,488
福利厚生費	940,940	1,132,724	△ 191,784
旅費交通費	337,500	0	337,500
通信運搬費	345,000	245,437	99,563
消耗品費	165,750	628,520	△ 462,770
修繕費	67,500	27,171	40,329
賃借料	4,185,000	4,184,379	621
管理諸費	66,600	66,330	270
リース料	165,000	164,340	660
手数料	112,500	45,887	66,613
委託費	1,158,750	0	1,158,750
情報公開データ整備費	6,625,500	2,189,014	4,436,486
水道光熱費	36,000	37,021	△ 1,021
雑費		3,330	△ 3,330
間接事業費 小計	25,573,550	21,302,784	4,270,766
事業費 合計	212,778,550	222,481,083	△ 9,702,533

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
管理費			
役員報酬	840,000	720,000	120,000
給料手当	3,303,490	3,794,434	△ 490,944
退職給付費用	92,000	151,512	△ 59,512
福利厚生費	281,060	349,899	△ 68,839
会議費	410,000	1,112,843	△ 702,843
旅費交通費	112,500	1,607,888	△ 1,495,388
通信運搬費	115,000	199,559	△ 84,559
消耗品費	55,250	331,546	△ 276,296
修繕費	22,500	9,056	13,444
印刷製本費	106,000	64,788	41,212
図書費	250,000	69,768	180,232
賃借料	1,395,000	1,394,793	207
管理諸費	22,200	22,110	90
リース料	55,000	54,780	220
手数料	37,500	67,941	△ 30,441
謝金	662,000	660,000	2,000
租税公課	10,000	3,100	6,900
委託費	386,250	2,673,440	△ 2,287,190
会費	148,000	177,704	△ 29,704
情報公開データ整備費	2,208,500	1,485,099	723,401
水道光熱費	12,000	12,340	△ 340
保険料	24,000	23,730	270
雑費	383,840	372,605	11,235
管理費 合計	10,932,090	15,358,935	△ 4,426,845
経常費用計	223,710,640	237,840,018	△ 14,129,378
評価損益等調整前当期経常増減額	28,293,510	16,082,319	12,211,191
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	28,293,510	16,082,319	12,211,191
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	28,293,510	16,082,319	12,211,191
一般正味財産期首残高	163,298,499	163,298,499	0
一般正味財産期末残高	191,592,009	179,380,818	12,211,191

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
II 指定正味財産増減の部			
基本財産評価損益等	0	5,195,840,819	△ 5,195,840,819
当期指定正味財産増減額	0	5,195,840,819	△ 5,195,840,819
指定正味財産期首残高	6,568,635,828	6,568,635,828	0
指定正味財産期末残高	6,568,635,828	11,764,476,647	△ 5,195,840,819
III 正味財産期末残高	6,760,227,837	11,943,857,465	△ 5,183,629,628